

みやぎ地域復興支援事業 (平成29年度)

総合タイプ③ 実施事例紹介

平成29年12月

震災復興・企画部地域復興支援課
復興支援第二班

目次

③-1. 合同会社 でんでんむしカンパニー

みんなで作る小さな宿プロジェクト

③-2. 石巻・川の上プロジェクト

「まちを耕し、ひとを育む」持続可能なまちづくり

③-3. 特定非営利活動法人 ひっぽUIターンネット

空き家再生プロジェクト「KAKURE-GA」

③-4. 一般社団法人イシノマキ・ファーム

地域循環型北上町ファームステイ拠点整備事業

みんなでつくる小さな宿プロジェクト

～古民家リノベーションで交流拡大と拠点づくり～

地域活性・
まちづくり交流・移住
定住促進事業主体： 合同会社 **でんでんむしカンパニー**

復興支援の概要

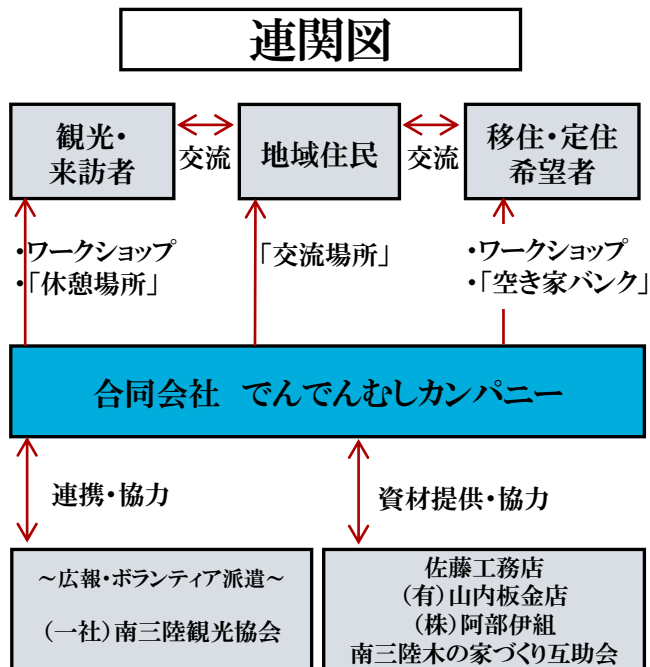
南三陸町では震災以降、人口流出が加速し、人口減少及び空き家増加が大きな課題となっている。一方、ボランティアなどをきっかけにこの町の魅力に惹かれ、交流目的で訪れる人や移住・定住を希望する人も出てきているが、宿泊や住宅の確保が困難な状況である。

そこで、限界集落となっている歌津弘川の空き家を改修し、以下の活動拠点として平成30年度より活用する。本年度は、移住希望者やボランティア等の来訪者と地域住民との交流を兼ねたワークショップと改修作業を実施する。

- ①みちのく潮風トレイルコースでの「休憩場所」とする。
- ②来訪者及び移住・定住希望者と地域住民との「交流場所」とする。
- ③移住・定住希望者向け「空き家バンク」運営の事務所とする。

本拠点は、更に改修を進め将来は宿泊兼交流施設とすることで、集落の活性化を目指す。また、山間部にも人の流れを作り出すことで、南三陸町全体の交流人口拡大、移住・定住促進に貢献していく。

関連図



2017. 8. 1
集落の方との夏の交流会



2017. 9. 6
おでっさんと屋根の修理



2017. 11. 25
改修中の古民家内で
ワークショップ開催



「まちを耕し、ひとを育む」持続可能なまちづくり

地域活性・
まちづくり

交流・移住
定住促進

事業主体：一般社団法人 石巻・川の上プロジェクト

復興支援の概要

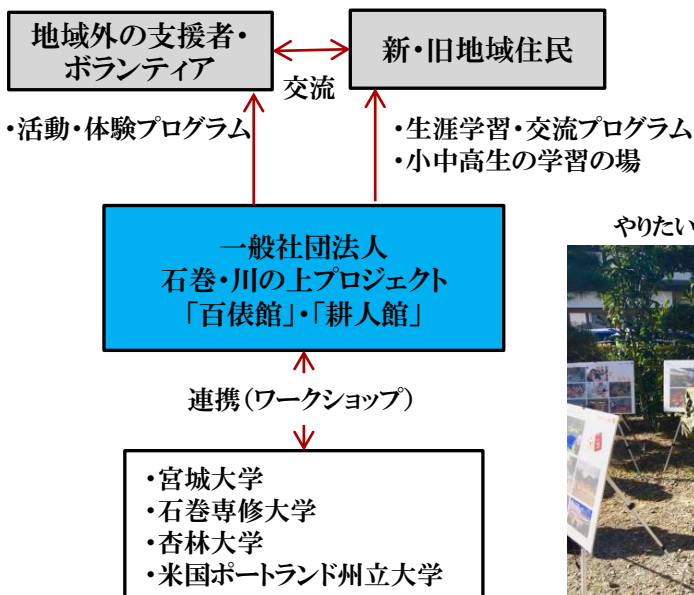
川の上地区は、既存住民400世帯の行政区に、防災集団移転など、沿岸部の住民400世帯が転入し、異なるバックグラウンドを持つ新・旧住民による新たなコミュニティ構築と、将来の川の上地区を担う人材の育成を進めていくことが課題である。

これまで、学習・交流スペースとして「川の上・百俵館」を運営してきたが、手狭になったため、隣接する住居を改修し、「川の上・百俵館」の機能を補完する新たなスペース「耕人館」を設置し、以下の事業を行う。

- ①地域リーダーの育成につながる勉強会やワークショップの実施
- ②地域の健康づくりと生きがいづくりによって、コミュニティ形成に寄与するプログラムを実施
- ③新旧住民の交流機会の創出や、地域外の支援者・ボランティアとの交流プログラムの実施
- ④小中高生の学習の場の提供

地域住民が、主体的に動く環境を作り出すとともに、小中高生が学習意欲を高め、地域への愛着を持つことで、50年・100年先の地域の担い手になることを目指す。

関連図



2017.9.26
耕人館
コンセプト
ワークショップ



2017.11.19
DIYワークショップ



2017.11.25
やりたいイベント・ヒアリングワークショップ



空き家再生プロジェクト「KAKURE-GA」

～空き家再生・利活用で地域活性化, 移住・定住促進へ～

地域活性・
まちづくり交流・移住
定住促進

事業主体：特定非営利活動法人 ひっぽUIターンネット

復興支援の概要

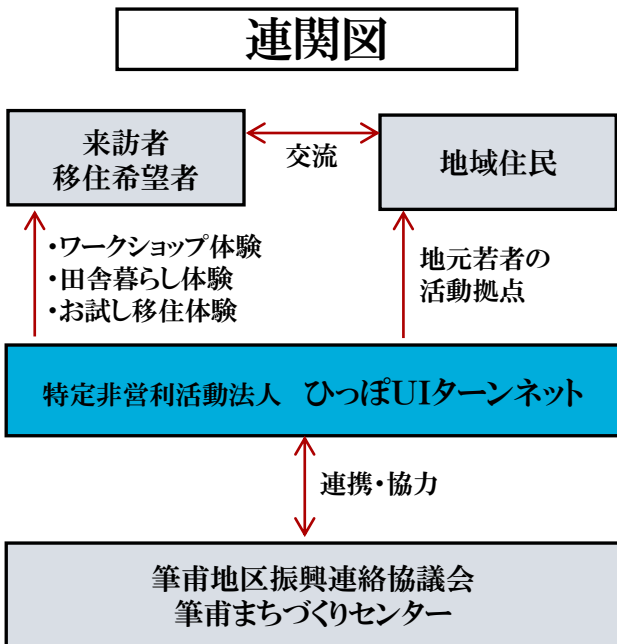
丸森町筆甫地区では、震災による福島第一原子力発電所事故による影響で、子育て世代や担い手世代が流出し、またかつて盛んだった外部との人材交流や移住希望者が減少するなど、活気を失い、震災から6年を経過した現在も停滞感が続いている。再び希望の持てる地域に復興する為には、新たな人の流れを生み出すための取組や交流拠点が必要となっている。

課題に応えるべく、空き家となっている古民家を交流・活動拠点に改修する。改修はリノベーション体験や住民との交流会として実施し、地区内外の新たな繋がり・関わりを生み出す。改修後は、

- ①地元若者の活動拠点及び、来訪者との交流イベントやワークショップ開催場所として活用する。
- ②田舎暮らし及び自然資源(湧き水, 薪ストーブ, 太陽光発電)の体験施設として活用する。
- ③移住希望者へのお試し移住体験場所として活用する。

空き家の有効活用モデルとなり、山里ならではの暮らしや魅力を発信し、交流人口拡大と移住・定住促進に貢献、地域活性化に寄与していく。

関連図



2017. 8. 20
「リノベーション交流イベント」
地元の方による作業指導の様子



2017. 8. 20
床下基礎づくりの様子



2017. 10. 8
「リノベーション交流イベント」
床張り作業指導の様子



地域循環型北上町ファームステイ拠点整備事業 ～再生した古民家と休耕地を活用し、農業の6次化で地域活性化を図る～

交流・移住
定住促進

地域活性・
まちづくり

事業主体：一般社団法人 **イシノマキ・ファーム**

復興支援の概要

石巻市北上地区では、震災後著しく人口減少が進み、高齢化も相まって、まちづくりや農業の担い手不足と、休耕地や空き家の増加が地域の課題となっている。

課題解決の為に、地域住民が行政や支援団体と協働・連携して、休耕地を活用した農業の6次化や地域の資源を活かした新規事業の立ち上げなどで、雇用の創出と交流人口の拡大を図り、地域の担い手を補完し活性化を進めていく必要がある。

具体的には、築126年の古民家を簡易宿泊所・交流スペースに改修し、

- ①就農希望者に対し、受入れ農家や休耕地の紹介などの就農支援を行う。
- ②移住希望者に対し、地区内のリノベーション済み空き家の紹介などの住宅支援を行う。
- ③短期滞在の農業体験を、高齢者の農家を会場に行うことで人手不足のサポートを行う。
- ④地区外からの来訪者に対し、地域の食材や農業を通じた「こころの健康を学ぶワークショップ」を実施する。

改修した古民家を、コミュニティ活性化の拠点とし、滞在者が北上地区の魅力を感じてリピーターから移住へとつながり、新たな地域コミュニティの担い手になることを目指す。

2017. 8. 5
漆喰塗りワークショップ



2017. 9. 9
地域住民との交流会



2017. 11. 5
食と農の健康カレッジ



関連図

